

赤羽西地区教育環境整備協議会

協議会だより

第1号

(平成15年9月発行)

《事務局》

教育委員会事務局
教育改革担当部
(電話) 3908-9271
(Fax) 3906-8755
(eメール)
k-kaikaku@kitacity.jp

赤羽西地区の教育環境を考える協議会がスタートしました

7月10日(木)赤羽北ふれあい館にて第1回協議会を、8月20日(水)赤羽文化センターにて第1回幹事会を開催し、下記の事項を検討・審議しました。

- 1) 協議会の設置要綱を承認し、協議会の名称を定めました。
- 2) 協議会に幹事会を設けることとしました。構成は右表のとおりです。
- 3) 協議会・幹事会とも公開とし、どなたでも傍聴できることとしました。

《幹事会メンバー》(敬称略)

(座長) 岩倉よし光(赤羽西6丁目町会長)

島村勝實(赤羽西自治会会長)

小川孝(稲付自治会会長)

柳澤輝隆(諏訪自治会会長)

平塚謙(赤羽台4丁目町会長)

鷲谷正雄(桐ヶ丘西地区自治会会長)

磯武福(桐ヶ丘N地区第2自治会会長)

竹内綾子(第三岩淵小学校PTA会長)

小池与正(袋小学校PTA会長)

甲賀裕章(赤羽西小学校PTA会長)

苦禰樹仁(稲付中学校PTA会長)

木間啓一(北中学校PTA会長)

角田茂(赤羽台中学校PTA会長)

山本義彦(梅木小学校校長)

瀧判壽(桐ヶ丘郷小学校校長)

谷口啓子(八幡小学校校長)

橋大作(稲付中学校校長)

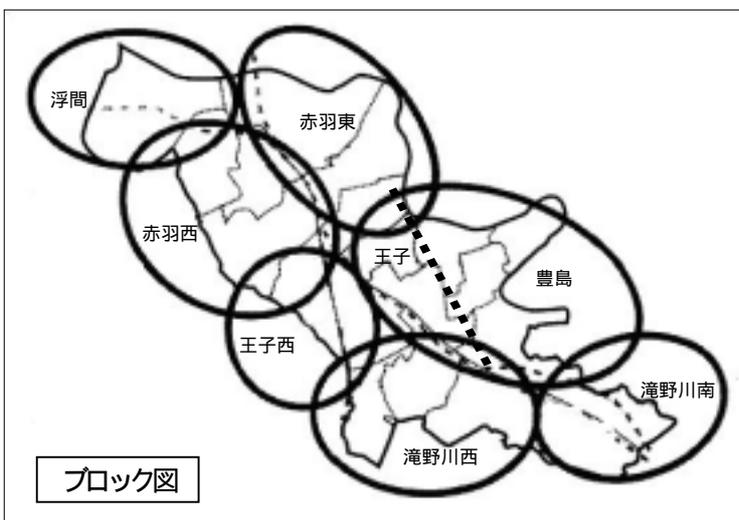
島村幸雄(北中学校校長)

菊也秀興(赤羽台中学校校長)

協議会とは

学校適正規模等審議会(第二次)答申を踏まえ、北区全体を7ブロック8地区に分け、各地区に協議会を設けることとしました。

本協議会は、赤羽西地区(稲付中・北中・赤羽台中・清水小・第三岩淵小・梅木小・桐ヶ丘郷小・袋小・八幡小・赤羽台西小・赤羽台東小の通学区域)の地区全体で教育環境の整備 学校の適正配置 新しい学校づくり 等を考えていきます。



第2回幹事会を9月25日(木)午後7時より赤羽北ふれあい館にて開催します。

詳細は北区ホームページ(<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>)をご覧ください。

協議会資料は事務局および関係各校にございます。

赤羽西地区教育環境整備協議会

協議会だより

第2号

(平成15年12月発行)

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@kitacity.jp

赤羽西地区の望ましい中学校数について検討し、「2校案」をたたき台に今後協議を深めることとなりました。

幹事会では、赤羽西地区の中学校3校を1校(稲付中+北中+赤羽台中)にした場合と2校(北中+赤羽台中・稲付中)にした場合を例に、それぞれの長所と短所について検討しました。

1校とした場合

長所：生徒や教員が増え学校生活が活性化するなど

短所：通学距離・通学時間・通学路ともに安全面で大きな問題がある、生徒数や教員数の面で規模が大きすぎる、既存の敷地では校舎も校庭も狭いなど

2校とした場合

長所：通学距離・生徒数ともに適正である、地域との密接な関係が期待できる、施設にもゆとりがあるなど

短所：組み合わせによって1校が小規模化するおそれがあるなど

なお、自衛隊駐屯地赤羽地区跡地(区取得分)の利活用については、公園用地として計画されていることが報告されました。

このような意見を踏まえ、幹事会では、「**中学校2校案をたたき台に今後の検討を進めることとする。ただし、より良い教育環境を模索する中で学校数の再検討が必要になる場合もあり1校案がなくなったわけではない。**」との結論に達し、協議会において了承されました。

《開催経過》

第1回全体会(平成15年7月10日)

第1回幹事会(平成15年8月20日)

第2回幹事会(平成15年9月25日)

・中学校1校案及び2校案の比較検討

第3回幹事会(平成15年10月23日)

・中学校1校案及び2校案の比較検討

第2回全体会(平成15年12月4日)

詳細は北区ホームページ(<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>)をご覧ください。

協議会資料は事務局および関係各校にございます。

協議会だより

第3号

(平成16年7月発行)

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaiiku@city.kita.lg.jp

赤羽西地区における中学校の配置は、「北中学校」と「稲付中学校」の位置が望ましいと方向づけられました。

幹事会では、赤羽西地区の望ましい中学校の配置について、検討を重ねてきました。

北中と稲付中の位置とした場合

長所：配置が北部に偏ることなく地域的バランスがよい。

北中と赤羽台中は近接しているため、統合しても通学に無理がない、など。

課題：平成20年度の推計生徒数では、学校規模に違いのある2校となる。(平成20年度推計では、北中+赤羽台中：14学級 497人、稲付中：8学級 306人)

赤羽台中と稲付中の位置とした場合

長所：小中の連携を考えて赤羽台中・八幡小の場所を生かせる。

配置が北部に偏らない。など。

課題：赤羽台中は北中より狭い。

北中と赤羽台中の位置とした場合

長所：広い敷地が確保できる。

課題：通学距離が長くなる。配置が北部に偏り地域的バランスが悪い。など。

敷地面積

稲付中 8,334.52 m²

北中 17,149.41 m²

赤羽台中 13,223.16 m²

このような意見を踏まえ、また、課題とされた学校規模の違いはむしろ、それぞれの特色を生かした個性ある学校づくりを目指すべきである、ということから、幹事会では、「望ましい中学校の配置は、北中学校と稲付中学校の位置」との結論に達し、協議会において了承されたものです。

詳細は北区ホームページをご覧ください。

(<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaiiku/index.htm>)

協議会資料は事務局および関係各校にございます。

《開催経過》

第1回全体会(平成15年7月10日)

第1回幹事会(平成15年8月20日)

第2回幹事会(平成15年9月25日)

・中学校1校案及び2校案の比較検討

第3回幹事会(平成15年10月23日)

・中学校1校案及び2校案の比較検討

第2回全体会(平成15年12月4日)

第4回幹事会(平成16年2月16日)

・望ましい学校配置について

第5回幹事会(平成16年3月10日)

・望ましい学校配置について

第6回幹事会(平成16年5月24日)

・望ましい学校配置について

第3回全体会(平成16年6月23日)

赤羽西地区教育環境整備協議会

協議会だより

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@city.kita.lg.jp

第4号

(平成16年11月発行)

10月28日の第4回協議会において、幹事会での確認事項が了承されました。

【協議会確認事項】

**北中学校と赤羽台中学校の学校適正配置の
実施時期は、平成18年4月とする。**

子どもたち、保護者、地域の方々とともに夢と希望と期待をもって、学校統合が迎えられるよう、今後準備を進めていきます。また、統合校は、北中学校の位置となりますが、校舎等を工事（現段階では建て替え（改築）あるいは大規模改造のいずれかとなるかは未定）します。工事期間中は赤羽台中学校を使用します。統合校は赤羽台校舎でスタートすることになります。今後、両校関係者による（仮称）統合推進委員会を設け、話し合いを進めます。

《開催経過》

第3回全体会（平成16年6月23日）

第7回幹事会（平成16年7月29日）

- ・校舎工事のシミュレーションについて
大規模改造工事の場合は2年、改築工事の場合は4年を要する見込み。

第8回幹事会（平成16年8月27日）

- ・小学校の適正配置について
赤羽台東小学校は平成17年3月末日をもって、閉校する。
- ・中学校適正配置の実施時期について
適正規模を確保し、早期により良い教育環境を整えるために、平成18年4月実施が望ましい。

第4回全体会（平成16年10月28日）

詳細は北区ホームページをご覧ください。

(<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>)

協議会資料は事務局および関係各校にございます。

赤羽西地区教育環境整備協議会

協議会だより

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@city.kita.lg.jp

第5号

(平成17年3月発行)

平成15年7月に第1回赤羽西地区教育環境整備協議会を開催して以来、1年半にわたり検討を重ねてきました。3月4日、第5回協議会全体会において、これまでの経過を踏まえた「協議会方針」が確認、了承されました。

《協議会方針》

- 1 この地域における中学校数は2校とし、稲付中学校の位置と北中学校の位置に配置する。
- 2 北中学校と赤羽台中学校は、平成18年4月に統合を実施する。
- 3 赤羽台東小学校は、平成17年3月31日をもって、閉校する。

《開催経過》

第1回全体会(平成15年7月10日)

学校適正規模等審議会答申報告

協議会の基本的な考え方

赤羽西地区の現況について

第1回幹事会(平成15年8月20日)

協議会設置要綱について

座長選出：岩倉 よし光氏

協議会だより第1号発行(9月)

第2回幹事会(平成15年9月25日)

1校案及び2校案の比較検討について

中学校の校数シミュレーション等の資料をもとに、意見交換を行う。

第3回幹事会(平成15年10月23日)

1校案及び2校案の比較検討について

メリット・デメリットについて比較検討を行う。

第2回全体会(平成15年12月4日)

協議会だより第2号発行(12月)

第4回幹事会(平成16年2月16日)

望ましい学校配置について

第5回幹事会(平成16年3月10日)

望ましい学校配置について

第6回幹事会(平成16年5月24日)

望ましい学校配置について

望ましい実施時期について

「学校の配置は、北中と稲付中の位置が適切」を幹事会のまとめにする。

第3回全体会(平成16年6月23日)

協議会だより第3号発行(7月)

【裏面あり】

第7回幹事会(平成 16 年 7 月 29 日)

適正配置実施時期について

第8回幹事会(平成 16 年 8 月 27 日)

赤羽台東小学校について

適正配置実施時期について

赤羽台東小学校は平成 17 年 3 月末日をもって、閉校することが、教育委員会において決定。

「中学校の適正配置実施時期は平成 18 年 4 月」を幹事会のまとめとする。

第4回全体会(平成 16 年 10 月 28 日)

協議会だより第 4 号発行(11 月)

第 5 回全体会(平成 17 年 3 月 4 日)

今回の協議会方針をもって、この協議会を締めくくります。

約 1 年半にわたって、さまざまな議論を重ねてまいりましたが、この間、子どもたち、保護者の皆様、そして地域の方々にも大変重い決断をしていただいた、と受け止めております。

これまで熱心にご検討くださった委員の方々、ご協力くださった学校関係者や町会自治会の皆様には、座長として、心から感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

赤羽西地区教育環境整備協議会

座長 岩倉 よし光

詳細は北区ホームページをご覧ください。

(<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaiaku/index.htm>)

協議会資料は事務局および関係各校にございます。